

報告日 令和7年12月3日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	あさけプラザ運営協議会（四日市市あさけプラザ内）			代表者名	松永義武
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	あさけプラザ	連絡先電話番号	059-363-0123
担当者役職	副参事	担当者氏名	清水智裕	連絡先E-mail	
住所	510-8028 三重県四日市市下之宮町296番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	四日市市	連絡先部署	あさけプラザ	
担当者氏名	清水智裕	連絡先電話番号	059-363-0123	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	みんなで「あさけ」界隈を歩いてウィキペディアと世界地図に足跡を残そう。			
概要	市民でつくるオープンデータ（OpenStreetMap、Wikipedia）を地域課題解決のツールとするイベントへの指導					
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） オープンデータ デジタルアーカイブ／図書館					

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	613	令和7年11月29日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月8日	支援・助言（実地）	8時45分	16時45分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	あさけプラザ 他		最寄駅	近鉄富田駅
	所在地	四日市市下之宮町296番地1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	青木 和人
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	①イベントを補佐する Wikipedia と OpenStreetMap 講師の選定・依頼について、豊富な人脈から第一線の講師に依頼していただき、熟練の講師陣による丁寧な説明により、参加者の理解度や満足度も高かった。 ②各地の Wikipedia タウンでの当地的イベント PR により、地域外の関心の高い方の参加を得られた。 ③イベント開催に先立った第1回、第2回のまちづくり団体への説明、共同作業（地域の歴史イラストマップのデジタル化）などにより、地域参加者の意欲の向上をはかることができた。
アドバイザーへの要望事項	特ない。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	18人
	属性	自治体職員	住民		
		人数	3	15	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・地域情報（歴史・文化・防災等）のデジタル化が進まず、情報の偏在や散逸が危惧される。 ・地域住民が自ら自由に記録するオープンデータについて地域での認知度が低く、難しいものととえられている。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	イベントを通じて、参加者がオープンデータである（Wikipedia や OpenStreetMap）の利用方法を知り、個人の趣味の展開や地域の資料の充実するなど、“ちょっとした興味”が、誰かの役に立つ知識になることで、地域の「取扱」が充実し、地域のコミュニケーションや地域愛（ローカル アイデンティティ）の糧となることで、デジタル技術によるソーシャルキャピタルの向上をめざす。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント全体のコーディネート ・イベント講師陣の選定・依頼と事前調整 ・他所で開催されているイベント等での当地のイベントPR ・地域のまちづくり団体へのPR
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・準備期間を長くとり、地域内外へのPRを続けたため、より関心が高い方々の参加をえられ地域での継続について意欲的な意見をいただけた。 ・まち歩きの地域（大矢知地域）のまちづくり団体関係者やNPO、大学関係者や他地域の氏子関係者、地域情報化アドバイザー（荒木克彦氏）、埼玉県内の図書館関係者などの参加を得られたことで、それぞれの主体での取組についての可能性も生まれた。
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input checked="" type="checkbox"/>⑦その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きをした地域のWikipediaやOpenStreetMapの記述の充実 ・参加者によるSNS等での発信（シティプロモーション面での効果）
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> ・Wikipediaは現地取材⇒図書のある会場で編集、OpenStreetMapは、スマホアプリを使用することで、現地での編集でほぼ完了するため、同じタイムテーブルで進行する難しさがあった。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>別紙のとおり</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input checked="" type="checkbox"/>③現段階では課題・問題が残っているため未定</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>参加者がオープンデータ（WikipediaやOpenStreetMap）の利用方法を知り、個人の趣味の展開や地域の資料の充実など、“ちょっとした興味”が、誰かの役に立つ知識になることで、地域の「取説」が充実し、地域のコミュニケーションや地域愛（ローカル アイデンティティ）の糧となることで、デジタル技術によるソーシャルキャピタルの向上をめざす。</p>

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載不可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

